



各位

2025年12月24日
ソニア・セラピューティクス株式会社

当社技術の基盤となる集束超音波治療に関する臨床研究結果が
Ultrasound in Medicine & Biology に掲載

ソニア・セラピューティクス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 兼 CEO：佐藤 亨、以下「当社」）は、当社の技術的基盤となっている集束超音波（HIFU）を用いた音響力学的療法（SDT: Sonodynamic Therapy）に関する臨床研究の結果が、学術ジャーナル「Ultrasound in Medicine & Biology」に掲載されたことをお知らせいたします。

本論文は、当社設立以前に、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）医療機器開発推進研究事業の支援を受け、東京女子医科大学、東北大学、東京医科大学を中心とする共同研究体制のもとで実施された研究成果をまとめたものです。

論文概要：

タイトル : First-in-Human Safety and Efficacy Study on Combination of High-Intensity Focused Ultrasound Sonication and Micellar Nanoparticle-Encapsulated Epirubicin, K-912: A Novel Sonodynamic Therapy for the Treatment of Refractory Abdominal Cancers.

掲載誌 : Ultrasound in Medicine & Biology

論文 URL : <https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S0301562925004193>

研究内容：

本臨床研究は、トリガーパルスシーケンスを搭載した集束超音波治療装置と薬剤（エピルビシンミセル／K-912）を組み合わせた新たな音響力学的療法（SDT）について、その安全性および有効性を検討した世界初のヒト臨床試験（First-in-Human）です。切除不能な脾癌（11例）および肝内胆管癌（1例）の計12例を対象に実施されました。

当社における位置づけ：

本研究で確立された技術および治療コンセプトは、当社創業メンバーが中核となって創出したものです。本治療法は、当社が現在開発を進める集束超音波治療の将来展望の一つとして位置づけています。



今後の展望 :

当社は、今回掲載された研究成果を重要な科学的基盤として、集束超音波治療の社会実装を目指し、今後も研究開発および関連機関との連携を進めてまいります。

本論文で報告された音響力学的療法（SDT）は現在開発中の未承認の治療法であり、現時点で一般の患者さまにご提供できるものではないことをご了承ください。

以上